

釧路市地域公共交通活性化協議会

平成20年6月9日設置
平成21年2月20日連携計画策定



概要

釧路市は、釧路駅を起点に路線バスが各方面へ運行しているが、商業施設や医療機関の郊外移転、中心市街地の空洞化に伴って、マイカーの優位性が高まるとともに、運行効率の低下により路線バスの採算が悪化し路線維持が困難な状況になってきていることから、バス路線・ダイヤの再編成、公共交通機関の利用促進検討、新規公共交通利用者の開拓に向けた課題の検討や郊外部における乗合タクシーの導入等により、公共交通の利便性・効率性を向上させ、持続可能な公共交通体系の構築を図る。

バス路線・ダイヤ再編成(21年度～)

・利用者の利便性向上、車両の運用効率化を図るため、複数路線が重複して運行する区間は幹線化、それ以降の区間は支線化し、各線がスムーズに接続するようダイヤ再編成の検討を行う。

公共交通機関の利用促進検討(21年度～)

・病院等の事業所における公共交通機関の活用状況の把握、事業所独自で送迎等を行い費用負担もしている場合の公共交通機関への転換の可能性について検討を行う。
・バス利用者の開拓のため、商店街や事業所等に対し、公共交通利用者への特典企画の実施等による集客事業の検討を促す。

新規公共交通利用者の開拓に向けた課題の検討(21年度～)

・観光客などの新規利用客を開拓することで、公共交通事業の採算性の向上を図るため、水陸両用車やDMVなどの導入及び活用についての課題を検討する。

乗合タクシーの導入(21年度～)

・路線バスの採算性の確保が困難となっている地域に適した、利便性、採算性の高い運行手段の確立を目指し、乗合タクシーと接続バスとを組み合わせた実証運行を行う。

